

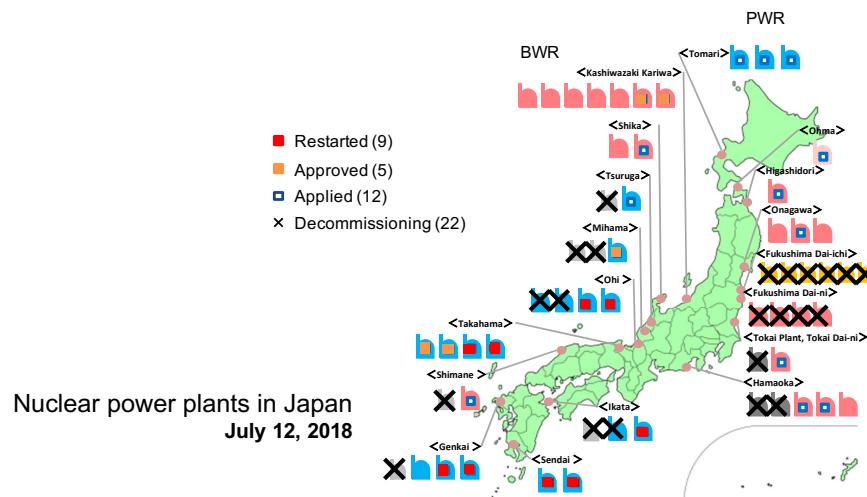
緊急モニタリング入門

長崎大 松田 尚樹

福島フィールドモニタリングセミナー 2018.8.23

- 原子力防災体制と緊急モニタリング
- 放射線施設による緊急モニタリングの基本

日本の原子力発電所



原子力災害対策重点区域

PAZ (Precautionary Action Zone)

- 原子力施設から概ね半径5km圏内。
- 放射性物質が放出される前の段階から予防的に避難等を行う。

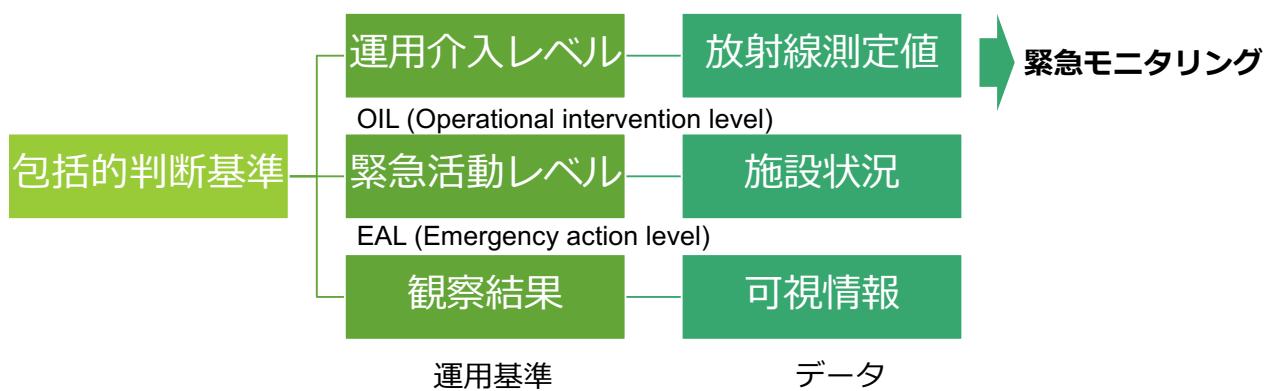
UPZ (Urgent Protective Action Planning Zone)

- PAZの外側の概ね半径30km圏内。
- 放射性物質が放出される前の段階から予防的に屋内退避を行う。

原子力施設の所在と周辺道府県



緊急時の防護措置を決定するプロセス



IAEA Safety Standards GSG-2, Fig.1

緊急時モニタリングの目的

- 原子力災害による環境放射線の状況に関する情報収集
- OILに基づく防護措置の実施の判断材料の提供
- 原子力災害による住民等と環境への放射線影響の評価材料の提供

運用上の介入レベル（OIL）と防護措置

基準の種類		測定項目	初期設定値		防護措置
緊急防護措置	OIL1	空間線量率	500 μ Sv/h	地上1m	数時間以内に避難または屋内退避
	OIL4	表面汚染密度	40,000cpm 120Bq/cm ²	皮膚表面	簡易除染等
			13,000cpm 40Bq/cm ²	1ヶ月後	
早期防護措置	OIL2	空間線量率	20 μ Sv/h	地上1m	1日以内に地域生産物摂取制限 1週間以内に一時移転

OIL: Operational Intervention Level

運用上の介入レベル（OIL）と防護措置

基準の種類		測定項目	初期設定値		防護措置
飲食物 摂取制限	飲食物スクリーニング	空間線量率	0.5μSv/h	地上1m	数日内に飲食物の核種分析
	OIL6	核種分析	核種ごとに設定		摂取制限
核種			飲料水 乳製品	牛乳	野菜類 穀類 肉 卵 魚 その他
放射性ヨウ素			300Bq/kg		2,000Bq/kg
放射性セシウム			200Bq/kg		500Bq/kg
プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種			1Bq/kg		10Bq/kg
ウラン			20Bq/kg		100Bq/kg

緊急時モニタリング体制

原子力災害対策本部

ERC (Emergency Response Center)



緊急モニタリング実施計画

企画調整Gr

情報収集管理Gr

モニタリング指示書

緊急モニタリングセンター
EMC (Emergency Monitoring Center)

現地災害対策本部
OFC (Off-Site Center)



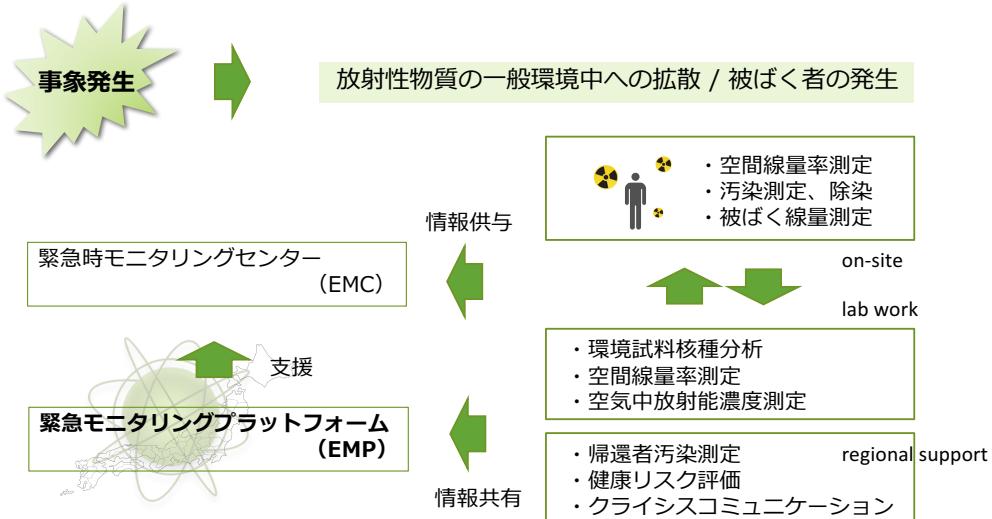
測定分析Gr



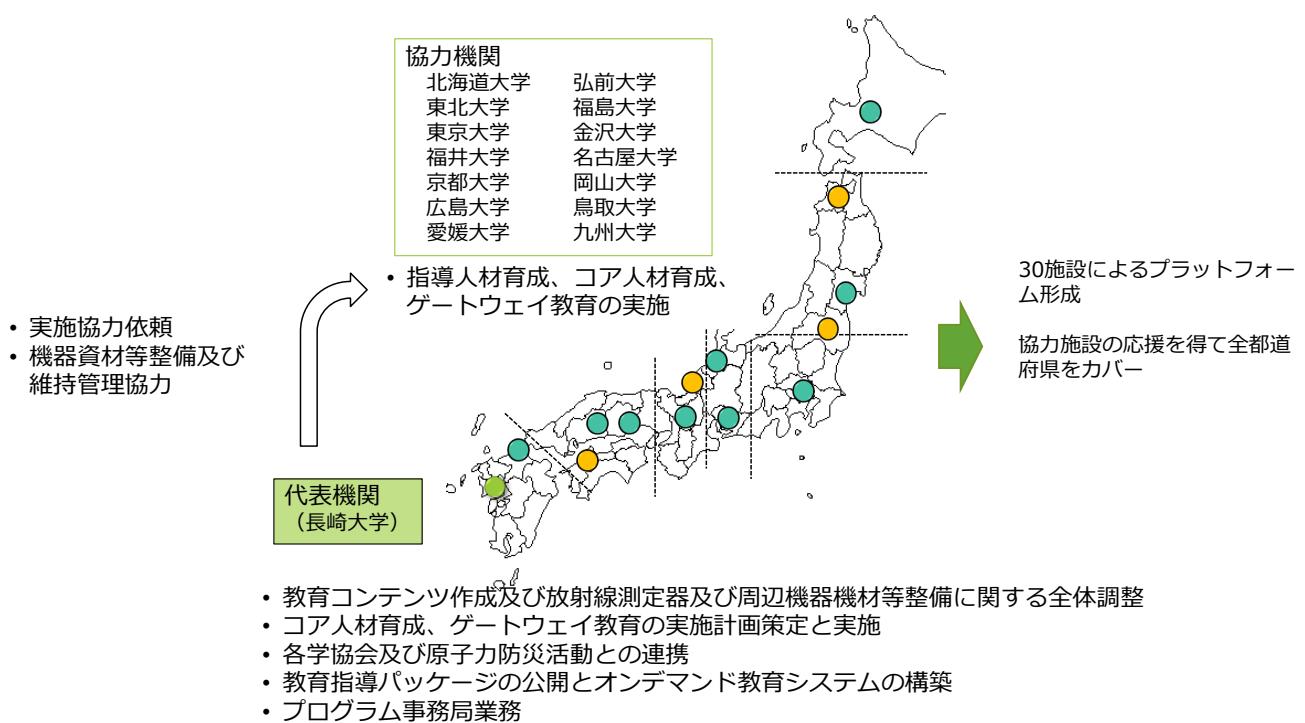
国
所在道府県
関係周辺道府県
原子力事業者
関係指定公共機関

島根県原子力防災センター

島根県原子力環境センター



放射線施設を緊急時モニタリングステーションに

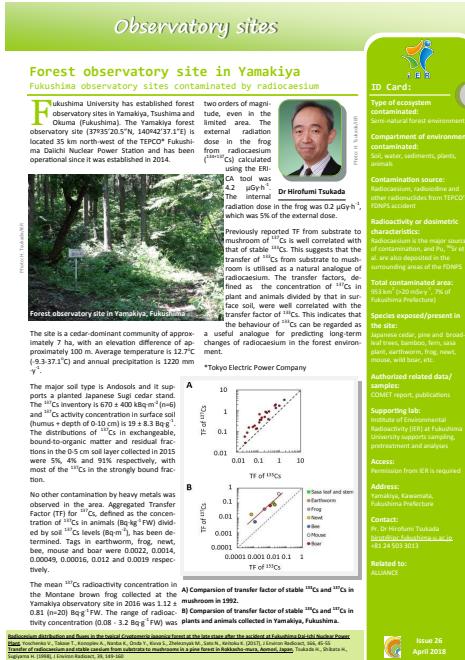


緊急モニタリングプラットフォーム構築のための教育研究プログラム

-
- 原子力防災体制と緊急モニタリング
 - 放射線施設による緊急モニタリングの基本

放射線施設による緊急モニタリングとは

放射線緊急時に
**利用可能なすべての手法を駆使して放射線を測定し
結果の意味するところを発信し
最適な防護に導くとともに
のちの詳細な解析を前提としたデータの蓄積を行う**

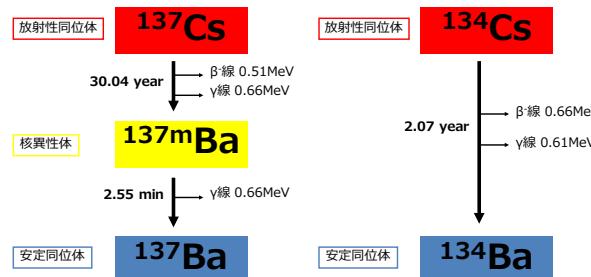


The inventory of ^{137}Cs is $670 \pm 400 \text{ kBq/m}^2$ ($n=6$) and the ^{137}Cs activity concentration in surface soil (depth of 0–10 cm) is $19 \pm 8.3 \text{ Bq/g}$.

Five years after the accident about 85 % of the ^{137}Cs is in the upper five cm of soil five years after the.

The available fraction of ^{137}Cs in the upper 10 cm of soil is less than 10%, the strongly bound fraction in the 0–10 cm layer is approximately 85%.

<https://www.radioecology-exchange.org/content/fukushima-radioecological-observatory-yamakiya>



Fukushima Radioecological Observatory in Yamakiya

空間線量率

ガンマ線

エックス線

中性子線

アルファ線

表面汚染

ベータ線

ベータ線

ガンマ線

エックス線

主な放射線の測定メニュー

空気吸収線量率

空間線量率

Sv/h

Gy/h

周辺線量当量率
1cm線量当量率

計数率

cpm

Bq/
cm²

表面汚染

被ばく線量

Sv

表面放射能密度

個人線量当量

測定値の単位

空間線量率

Sv/h

ガンマ線

中性子線



ポケットサーベイメータ
(Cs(Tl)検出器)



シンチレーションサーベイメータ
(NaIシンチレータ)



携帯型環境ガンマ線測定器
(半導体検出器、Cs(Tl)検出器)



電離箱式サーベイメータ



中性子サーベイメータ
(³He比例計数管)

高線量率

低線量率

測定器

表面汚染

cpm

Bq
/cm²

ベータ線



GMサーベイメータ



β線用ラギットシンチレーション
サーベイメータ
(プラスチックシンチレータ)

アルファ線



α線用シンチレーションサーベイ
メータ
(ZnS(Ag)シンチレータ)

測定器

被ばく線量

Sv

ガンマ線

エックス線



ガラスバッジ



ポケット線量計



Dシャトル

ベータ線

測定器

被ばく線量評価と健康リスク評価

✓ 被ばく線量評価

寄与が最大となる被ばく経路は何か？

線量のオーダーは？

時空間的な変化は？

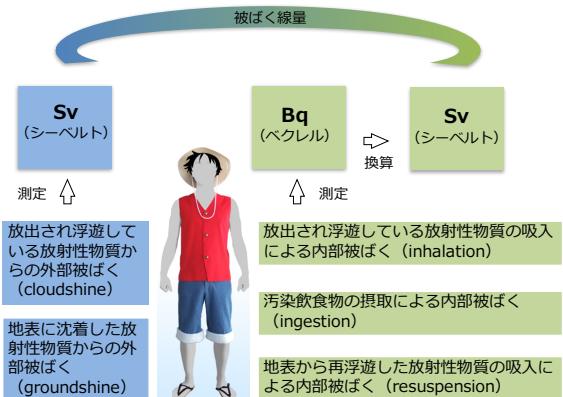
✓ 健康リスク評価

ものさしを何にするか？

実験科学・疫学

規制科学

社会科学



線量のオーダー 相場観



解釈と発信（コミュニケーション）

モニタリングデータ

科学的事実

測定条件、分母は

被ばく線量評価

二次データ

シナリオは

健康リスク

予想 生物的 社会的 心理的

時間との関係は

とるべき対策

Decision making

時間（いつまで）、距離（どこまで）、遮蔽（どのようにして）

